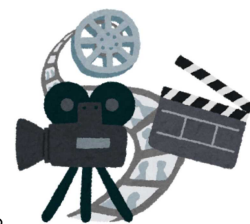


相談室だより

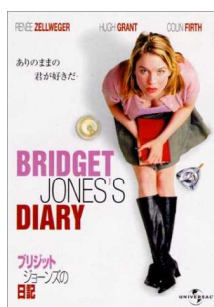
10月



ほっこりと温かい飲み物の湯気をあごにあて、
ブランケットを膝に、ほっと一息つきたい季節です。



自分ではない人の人生なのに、泣いたり笑ったり。
映画には、心があったかくなる魔法がいっぱいです。
今日は「これでいいのだ…」と思える魔法の言葉を紹介します。



"I like you very much just as you are."

「ありのままの君が好きだ。」

『ブリジット・ジョーンズの日記』

"You born to live your life."

「あなたは自分の人生を生きるために
生まれてきたのよ。」

『サウンド・オブ・ミュージック』



"You cannot live your life to please others.

The choice must be yours."

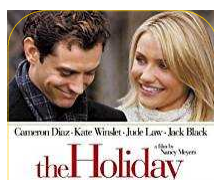
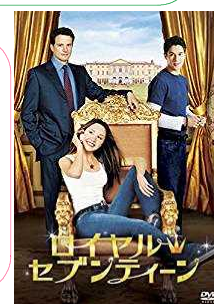
「誰かを喜ばすために、自分の人生を生きることはできないの。
全てはあなた次第よ！」

『アリス・イン・ワンダーランド』

"Why are you trying so hard to fit
in when you were born to stand out?"

「君は君であるために産まれてきたのに、
なぜ君はみんなに合わせようと一生懸命なんだ？」

『ロイヤル・セブンティーン』



Artur : This is the movies we have leading ladies and we
have the best friend. You, I can tell, are a leading
lady, but for some reason you are behaving like the
best friend.

Iris : You're so right. You're supposed to be the leading
lady of your own life, for God's sake.



アーサー：「映画には主演女優とその一番の友が出演する。君は主演女優で
あるはずなのに、なぜか親友を演じている。」

アイリス：「そうね。自分の人生なんだから、主演女優のはずね。」

『ホリデイ』